

羽生市議会議員【無所属】

中島なおき

Seesoo BLOG

中島なおき

ほとんど毎日更新中！



中島 直樹

令和2年 夏 NO.76

子供に
ツケを
まわさない！

令和2年度 6月定例会市議会報告

羽生市 新型コロナウイルス感染症 予防対策予算措置

① 感染症予防対策

- ・小中学校における感染症予防対策
消毒液、非接触型体温計等の購入 **480万円**
- ・医療機関、福祉事業所等への支援
医療機関、福祉事業所等が感染拡大防止対策として要する費用を補助(提案型) **2,250万円**
- ・被災時における感染症予防対策に必要な
備蓄品の購入 **500万円**
- ・救急救命活動における感染症予防対策 **155万円**
- ・公共施設における感染症対策 **280万円**
- ・職員サテライト勤務推進事業
市役所会議室及び出先機関等を活用した分散勤務
に対応するための経費 **100万円**
- ・乳幼児健診事業、訪問調査事業における
感染症予防対策 **50万円**

② 市内経済活性化対策

- ・市内飲食店支援事業
飲食店特化型プレミアム商品券(プレミアム率50%) **1,100万円**
- ・プレミアム商品券事業
プレミアム商品券(プレミアム率20%) **6,950万円**

③ 住民生活の支援

- ・ひとり親家庭等への支援
児童扶養手当受給者世帯の児童一人につき
2万円を支給 **1,500万円**
- ・臨時休校中における昼食費の支援
就学援助受給者に対し、臨時休校期間における
学校給食費相当額を支給 **435万円**
- ・1人1台タブレット端末整備の早期実現
令和2年度に、児童生徒全員分のタブレット端末を整備
(GIGAスクール構想早期実現) **1億6,321万5千円**

新型コロナウイルス感染症
羽生市独自支援、対策事業 **総額 3億121万5千円**

6月定例会上程 原案可決

感染症対策対応地方創生
臨時交付金・予備費を充当

特別定額給付金事業

55億944万2千円

(6/17現在 21,411件振込済)

対申請者96.7%

政府の一次補正予算(4月30日)が可決成立したことを受け、市民一人当たり10万円を支給

子育て世帯臨時特別給付金事業

6,437万円

政府の一次補正予算(4月30日)が可決成立したことを受け、児童手当受給者一人当たり1万円を支給

国民健康保険傷病手当金支給事業

84万円

新型コロナウイルス感染症に罹った国保被用者に傷病手当を支給

略歴 S47年11月生まれ(47歳) 184cm 80キロ 埼玉栄高校普通科 日本福祉教育専門学校社会教育学科 日本大学法学部政治経済学科卒 児童福祉施設 社会福祉協議会勤務を経て H19年市議会議員選挙にて正真正銘「地盤・看板、かばんなし」から初当選 H26年話題づくりを最優先とした市政運営に異を唱え、市長選挙に立候補するも次点落選 選挙後、家族の生活を守るため民間企業に就職 H27年市議選史上最高得票を賜り3度目の当選 R元年市議会議員選挙4回目の立候補 最上位当選
●NPO法人地方議会制度研究センター副代表理事 県政躍進地方議員の会代表 第2期若手政治家養成塾副代表 青年地方議員の会 ■趣味:家庭菜園 洗車 山登り 最近は加齢に抗うため、ランニングと肉体改造に夢中 ▲特技:ギター弾き語り

令和2年度
6月定例会

47回目の一般質問 市政を問う！

議長を除く、13名の議員のうち、7名が「市政に対する一般質問」を行いました。
ここ数年では異例の少なさです。登壇したすべての議員が感染症に関する質問でした。

Q.小中学校の感染症対策について

・どのような経緯、協議を経て、休校、再開を決定してるのか？

A. 国や県のガイドライン、他の自治体の動向を参考にしつつ、校長会長、副会長等を招集。必要に応じて臨時校長研究協議会を開催して、大筋で合意形成を行ったうえで決定している。

・6/1から平常通りの授業が行われる他の自治体はみられない。新一年生への影響をどのように考えているのか？

A. 心的負担を軽減するため、5/25～29まで分散登校を行った。負担を和らげるため新しい生活、学習リズムになじめるよう配慮している。

・土曜授業の再開についての見解

A. 再開後の状況を見極め検討する。



Q.感染症対策課を設置すべき

A. 「餅は餅屋」。設置しない。

Q.マスクの回収BOXを設置すべき

A. 衛生的に問題がある。設置しない。



感染症対策として、3密を軽減するため、マスクの着用の義務付け、ドアを開放、座席の間隔を空ける、一般質問の議員の持ち時間を1時間を30分に短縮するなど、あらゆる対策を講じながらの定例会でした。



副議長として、議長とともに、市長、副市長に議会費減額補正の要請書を届けました。6月定例会において、第2波、第3波に備えた予備費への充当が決定。

6/3、今年度の議長公務の一部、常任委員会の視察などの議会経費を削減し、感染症対策の財源に振り替えるよう、他の自治体に先駆けて市長に要請を行いました。削減額は280万円です。朝日新聞、埼玉新聞、時事通信社に取り上げられています。

● 感染症対策への財源にすべく 議会費の削減を要請



check

5/21

4/30

4/28

4/7

4/7

4/7

4/7

4/7

4/7

4/7

4/7

4/7

※ 羽生市災害対策本部が設置された際、それを支援するため市議会に設置。有事を想定し、R元年2/25策定

市議会の感染症対策・対応

中島が見る市政一押し情報！



● 公共施設の利用制限が7/1より緩和

感染症拡大の影響で制限されていた公共施設の利用が緩和されます。しかしながら、安全確保のため、拡大防止策を講じての利用をお願いします。



● 市内小中学校について

羽生市の小中学校は6/1から給食を含め通常通り再開しました。他の自治体には見られない再開です。今後の予定は以下のとおりです。

1学期 8/7(金)まで

2学期 8/24(月)～12/25(金)まで

3学期 1/5(火)～3/26(金)まで

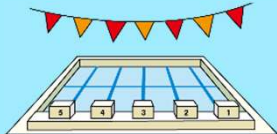
中学の部活動は6/22(月)から段階的に再開



● 中学校のプールが廃止に！

小学校は当面継続！

令和3年度に老朽化が著しい市内3中学のプールが廃止されます。今年度は感染症拡大の影響から、水泳の授業が行われな



西中	55年
東中	40年
南中	38年

いため、実質、今年度で廃止されることとなります。築年数は左記。市の財政状況を考えると、新設や改修は現実的

ではありません。学習指導要領でも水泳の授業は明記されていません。淋しさはありますが、時代の変遷です。